

「医療×IT」をもとに医療業界からビジネスを始め、研究開発企業として全企業に貢献する

「医療×IT」をキーワードに、主にウェブ講演会運営・配信サービスや、人工知能(AI)を活用したデジタルサービスを展開するIT企業。ウェブ講演会運営・配信サービス「3eLive」は、製薬会社向けサービスとしてトップシェアを誇っている。また、近年ではAIの開発に注力しており、チャット形式での自動応答システム「AI-Q」を開発した。大企業における社内向けQAシステムや、コールセンターにおける商品説明に需要がある。

所在地 佐賀県佐賀市卸本町6-1

電話/FAX 0952-31-3901/0952-31-3919

URL <https://www.k-idea.jp/>

代表者 代表取締役 木村 隆夫

設立 2005年

資本金 5,000万円

従業員数 431人



大企業とのマッチングを支援、中小企業のためのデジタル営業改革を推進

同社は業界専門紙と協業し、商談会や展示会を開催して大企業と中小企業のマッチングを支援するポータルサイト「B2B Bridge」を構築。本システムでは、ライブやオンデマンドの配信システム、質問に自動応答するAIチャットボットやリモート商談予約システム、企業紹介動画の再生を実装。オンライン展示会の企画から展示会用動画制作の提案、ライブ・オンデマンド配信までワンストップでサービスを提供。この営業活動支援の取組は令和元年度補正予算「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（ビジネスモデル構築型）に採択された。



ポータルサイト「B2B Bridge」の画像

他社との積極的な連携による、自社サービスの付加価値の向上

主力事業であるウェブ講演会運営・配信サービス「3eLive」は、日経メディカル、ケアネットおよびメディカルトリビューンなど、医療従事者向けサービスに特化した企業と連携してお客様の集客を実現。製薬会社が所持している膨大な医療関連情報とターゲットドクターを結びつけることで、有効かつ効率的なウェブ講演会を実現できる。また、各社とのログイン認証連携によって医療関係者の本人性を保持し、高いセキュリティを担保するなど、自社サービスの付加価値を向上させる取組を行っている。



講演会当日のオペレーション業務

自社開発の案件受付システムを活用し、業務の効率化を図る

コロナ禍の影響もあり、ウェブ講演会運営・配信サービス「3eLive」の需要が増えている。受注数増加に伴う案件管理、情報共有の徹底、業務処理の漏れの防止のために、案件受付システムを自社開発。同システムでは顧客がオンラインで業務を直接依頼できるようになり、受注作業が減少して業務の効率化に繋がった。配信の視聴情報管理も、これまではログ情報の整理などに人的リソースが必要であった。しかし標準ログシステムを活用することで、サイトにアクセスすれば一目でアクセス状況がわかるようになった。



案件受付システムの画像